



ソフトウェア演習 2 B

イントロダクション

担当教員とTAの紹介

■ 担当教員

- ◆ 菅谷保之 : C-507, sugaya.yasuyuki.jp@tut.jp

■ TA

- ◆ 岡元文哉 : okamoto.fumiya.sd@tut.jp
- ◆ 田川幸汰 : tagawa.kota.qr@tut.jp
- ◆ 平川絢梧 : hirakawa.kengo.pw@tut.jp

講義の内容

- クラスの作成と継承
- コピーコンストラクタ、変数の参照渡し、vectorクラス
- ライブラリの作成
- 行列・ベクトル演算ライブラリeigen
- 未定
- 自由課題

講義の進め方

- 講義資料、課題資料等はclassroom上にアップロードする
- 講義前半に講義資料に基づいて課題に関連する内容の説明を行う
- 講義後半は課題資料に基づいて各自で課題を進める
- その週の課題は次の週の前日までにclassroom上で提出する

課題レポートについて

- 課題資料に従ってプログラムを作成して、以下の内容をまとめる
 - ◆ 課題内容
 - ◆ 作成したプログラムのソースコード（課題ごとに行番号を付加したもの）
 - ◆ 作成したプログラムに関する説明（アピールする点があればそれも記述）
 - ◆ 課題の最後の記述してあるチェック項目への回答
- 上記の内容を 1 つのPDFファイルにまとめてclassroom上で提出する
- 提出締め切りは原則次の講義の前日とする
 - ◆ classroomに締め切り日が設定されているので必ず確認すること

成績の評価

- 6回のレポートの平均点で評価する
- 1つでもレポートが未提出の場合は採点の対象としない
- レポートの締め切りは厳守すること
 - ◆ 締め切り後に提出されたレポートは減点する
 - ◆ なんらかの事情で締め切りに間に合わないとは判断したときは**事前**に相談すること

講義時間外の質問について

- できるだけ講義中に質問する
- メールで質問する
 - ◆ 教員もしくはTA宛に質問のメールを送る
 - ◆ メールのタイトルはこの講義に関する質問であることがわかるように、以下のようなタイトルにすること
[ソフトウェア演習2B] ○○に関する質問
- アポイントメントを取って対面で質問する
 - ◆ メールで事前にアポイントメントをとる